

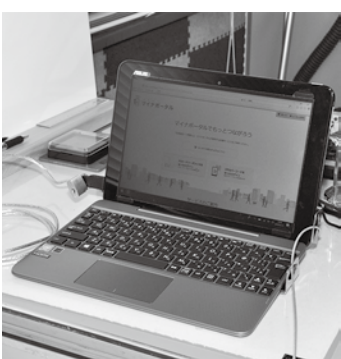
マイナポータル閲覧専用端末を 設置しました

マイナポータルは、政府が運営するオンラインサービスです。



行政機関がマイナンバー(個人番号)を含む自分の情報をいつ、どこでやりとりしたのか、また、行政機関が保有する自分に関する情報や行政機関から自分に対しての必要なお知らせなどを自宅のパソコンなどから確認できるものとして国によって整備されています。

今回、パソコンがない方にもマイナポータルを利用していただけよう、市役所と保健福祉センターに閲覧用の端末を設置しました。



マイナポータルを利用するためには

ご自宅のパソコンなどからマイナポータルへログインする際は、マイナンバーカードを読み込み、認証するための「ICカードリーダー」が必要になります。

。(購入費用は利用者の負担となります)また、マイナポータル対応のスマートフォンで利用することもできます。

マイナポータルにログインするためには、利用者証明用電子証明書(数字4桁の暗証番号)を搭載したマイナンバーカードが必要です。

閲覧端末の利用方法

端末の利用を希望される場合は、次の設置場所にいる職員にお声掛けください。事前の予約は不要ですが、先に利用している方や窓口の状況によってお待ちいただく場合があります。

なお、設置している端末は閲覧専用ですので、確認した情報を印刷することはできません。情報を持ち帰りたい場合には、メモをとるなどしてください。

閲覧端末設置場所

市役所1階
総合窓口課、ごども課
保健福祉センター1階
健康づくり課

問い合わせ

マイナンバー制度全般に関することについて
☎0120・95・0178(マイナンバー総合フリーダイヤル)

マイナポータルサービス
トップページ
<https://myna.go.jp/>

パブリックコメントを実施してらます 皆さんのご意見を寄せください

市では、誰もが住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けることができるよう、本市の障害福祉を推進するための計画である「稚内市障がい者計画・第5期稚内市障がい福祉計画(素案)」、高年齢者の保健福祉及び介護等に関する「稚内市高年齢者保健福祉計画・第7期稚内市介護保険事業計画(素案)」を策定しました。

この二つの素案に対して、市民の皆さんからのご意見を募集します。

津波ハザードマップを 新たに作成しました

平成29年2月に、北海道から公表された日本海沿岸の津波浸水想定を踏まえて、津波ハザードマップを作成しました。

なお、津波ハザードマップは市ホームページにも掲載しています。

津波ハザードマップは、各町内会のご協力をいただき、今回の広報紙と併せて配布させていただきました。お手元に届きましたら、ご自宅周辺の状況などを事前に確認いただき、いつ、いつに備えてください。



問い合わせ
市総務防災課防災グループ
☎23・6380

「稚内市障がい者計画・第5期稚内市障がい福祉計画(素案)」について

「稚内市障がい者計画・第5期稚内市障がい福祉計画(素案)」について

閲覧場所
市役所受付、社会福祉課、宗谷支所、沼川支所

問い合わせ

市社会福祉課障がい福祉グループ
☎23・6453

「稚内市高年齢者保健福祉計画・第7期稚内市介護保険事業計画(素案)」について

事業計画(素案)について

事業計画(素案)について

閲覧場所
市ホームページ、市役所受付、長寿あんしん課、宗谷支所、沼川支所

問い合わせ

市長寿あんしん課介護高齢グループ
☎23・6458

「稚内市高年齢者保健福祉計画・第7期稚内市介護保険事業計画(素案)」について

こんいちば 市長です。

No.47



「盛りだくさん!冬のイベント」

お正月も終わり、いよいよ冬本番です。

この冬は、昨年末から暴風雪が続き、市民の皆さんは大変ご苦労されたのではないのでしょうか。北国の私たちにとって、冬は友だちであり、生活の一部です。今年の冬も寒さを味方に、大いに楽しみたいと様々なイベントが用意されました。友好都市であるサハリン州ユジノサハリンスク市で活躍中のロシアアンサンブル「ルースキー・テレーム」の皆さんが、2月15日から1カ月間、副港市場で行われる「サハリン館」で、今年もロシアの歌や踊りを披露してくれそうです。

また、稚内青年会議所などが中心となって「氷雪の広場」が開催される2月10日、11日の両日は、今年も多くの子どもの笑顔と笑い声が会場に満ち溢れることを期待しています。

また、10日にはアイスクャンドルがまちのあちらこちらで灯され、幻想的な雰囲気になります。そして、このまちの冬のイベントの掉尾を飾るのが「全国犬ぞり稚内大会」です。最北の雪原を目指して、今年も全国から多くの犬たちとマッシャーがわがまちに集結します。

近年、外国人観光客の方の姿が目立ちますが、これらの方ももちろん、多くの観光客の皆さんを心から「おもてなし」でお迎えしたいと考えています。これからの一日一日は、一步一步、春に近づいていきます。厳しい寒さに負けず、雪や氷と親しみながら、お互い元気に過ごしましょう。

稚内市長 工藤 広